

ドクトル伊田の 「花粉症は予防可能か」



ていきます。

No.27

目の花粉症状、いわゆる花粉性結膜炎を発症する人は、近年では毎年同じように症状が顕在化し、かつ罹患期間も長くなっています。

その理由として、原因となるスギとヒノキの花粉抗原の共通性がわかり、感作される花粉量が増えたこと

に加え、気候の温暖化で飛散時期が長くなり、季節性が薄らぐなど次第に通年性のアレルギー性結膜炎の様相を呈してきたから、と考えます。また、アレルギー素因、アトピー素因をもつ人が増えていることも症状を長引かせ、治りにくくなる一因でしょう。

花粉性結膜炎がアレルギー反応である以上、血液中

での抗原抗体反応が確立しており、病気が長期化すれば、繰り返し引き起こされ即時型のアレルギー反応と遅延型の免疫反応の組み合せによって組織障害が次第に強くなり、持続する鼻づまりや充血、目の周りの腫れや赤みが出てきます。

このような場合、症状が改善したからといって投薬治療を途中で止めてしまうとアレルギー反応は完全には解除されず、体に免疫応答が残ってしまいます。

そして翌年、あるいは次回の花粉が飛散した時、アレルギー反応と自覚症状が一致せず、アレルギー反応が始まつても気付かないなど症状が複雑化、慢性化し

療法は、花粉が飛散する1～2週間前に抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤を投与するやり方ですが、花粉症状が軽になると諷われているだけで、いつまで投薬を続けるか決まっておらず、予防療法ではありません。

1月になると明らかに花粉性結膜炎の症状とわかる患者さんが来られますし、その後も寒波や大雪の後など大気の状態が変わる時には何度か花粉飛散のピークがあり、3月以降は乾燥による痒みも加わってきます。同じ花粉症でも自覚症状に気付くのにかなり時間差があること、大気が乾燥した時に自覚症状が出やすいことから、短期間の初期療法のみでは治療は不十分と認識してください。



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30	○	○	○	○	○	○	
12:30							
15:30	○	手術	○	/	○	/	
18:30							

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日
TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

